



昨年12月25日にグループ中核企業のオリエンタルコンサルタンツを前面に出した社名に変更した。ブランド力を浸透させ、人材獲得と事業拡大につなげる。受動型から自ら

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

## 野崎 秀則社長

### ブランド力で人材・事業増強

ビジネスをつくる「主導型ビジネス」への転換を図る。昨年12月、前橋市に新設する「道の駅」の運営に参画する「道の駅」の運営に参画する。重点分野の地方創生事業は、公園の指定管理を手掛けることになった。周辺には指定管理者となっている群馬県立敷島公園と前橋市中央児童遊園「るなばあく」もある。案から計画・設計、施工監理、運営までをワンストップで受注するとともに、複数の事業の分野を同時に手掛ける「総合事業」を展開し、地方自治体との信頼関係を築きたい。

フット両面から事業を提供し、社会的課題を解決する「社会価値創造企業」を目指す。海外はグループのオリエンタルコンサルタンツグローバルが昨年10月、アフリカ市場を攻める中核拠点としてウガنداに現地法人を設立した。地元の優秀なスタッフを集め、ローコストで品質の優れた事業を行う。昨年12月には世界最大の建設コンサルタント会社・米AECOMとも業務提携した。欧米に事業エリアを広げたい。人と得意な市場で互いに補完・協力する。